

中学1年生対象 県外講師による特別授業

7月28日（月）、中学1年生を対象に県外講師による特別授業を行いました。今回は、滝口隆幸先生（東京都立小石川中等教育学校）と石川勝也先生（開成中学校・高等学校）の2名の先生をお招きして、授業を行っていただきました。

[滝口先生による講座（数学）]

講座名：計算は自由だ 会場：24講義室B

滝口先生の授業では、(2ケタ) \times (2ケタ)の計算を、これまで使ってきた筆算ではなく、インド式計算を使って計算する方法について学びました。はじめは、やったことのない計算に少し苦戦していましたが、授業の後半では徐々に慣れてきた様子で、従来の筆算を使うよりも速く計算できるようになりました。

また、新たな計算方法を学ぶだけでなく、これまで学んできたことやこれから学んでいくことに対して、当たり前と思うのではなく、学んだ内容に疑問をもつことの大切さについても教えていただきました。

生徒の感想

- ・1つの答えを出すにはいろいろなやり方があるのだと知った。インドの計算の仕方をやってみて、とても便利だと思った。この計算の仕方を小学生の時から知っていたら得していたと思った。
- ・(2ケタ) \times (2ケタ)の計算は覚えるか筆算で解くのが当たり前と思っていたが、今までの解き方とは違うやり方を教わり、当たり前のことに対して考える習慣をつけていきたいと思った。



[石川先生による講座（地学）]

講座名：流星から銀河へ 会場：学習室 AB

石川先生の授業では、まず、流星や彗星とはどのようなものであるのかについて、写真を用いてわかりやすく説明していただきました。また、地球が丸いことや回っているという当たり前のことに対して、「なぜ、地球が丸いとわかったのか」、「なぜ、地動説が正しいとわかったのか」という疑問を生徒たちに投げかけ、当たり前だと思っていた事柄をじっくりと考え直す機会となりました。さらに、3D眼鏡をかけて国立天文台が作成した Mitaka というアプリで宇宙空間の様子を観察し、惑星や銀河の位置関係や宇宙の広大さを実感することができました。

生徒の感想

- ・彗星は太陽の近くで溶けても水にはならず、氷から直接気体になるということが一番印象に残った。宇宙空間で水は浮くのだろうと今まで思っていたけれど、宇宙空間では水は浮かないと知って、とても興味深かった。
- ・流れ星は実はただのゴミだったということが心に残りました。願い事をいつもちりに向かって唱えていたかと驚きました。でも、あのちりがきれいな流星を生んでいるかと思うと、宇宙はおもしろかったです。

